

調達要求番号：

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書		
物品番号	仕 様 書 番 号	
スノースイーパー	G E - D 3 8 2 5 1 6 F	
	防衛大臣承認	平成 1 0 年 8 月 1 9 日
	作 成	昭和 5 6 年 6 月 2 3 日
	変 更	平成 2 3 年 8 月 1 1 日
	作成部隊等名	補給統制本部 施設部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊において主として滑走路などの除雪作業に使用するスノースイーパー（以下，“器材”という。）について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、J A T M A 及び G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1 による。

1.3 種類

種類は、表 1 によるものとし、調達要領指定書によって指定する。

表 1－種類

番号	種類	除雪幅
1	I 型	2 5 0 0 mm 以上
2	II 型	3 7 0 0 mm 以上

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、仕様書名称及び種類による。

例 スノースイーパー I 型

1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

J I S D 5 3 0 1 始動用鉛蓄電池
J A T M A 日本自動車タイヤ協会規格

b) 仕様書

D S P K 2 2 0 9 軽油
G E - Z 4 2 1 0 1 8 粉末消火器
G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

c) 法令等

特定特殊自動車排出ガス規制等に関する法律（平成 1 7 年 5 月 2 5 日法律第 5 1 号）
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関して必要な事項を定める告示（平成 1 8 年経済産業省、国土交通省、環境省告示第 1 号）
道路運送車両の保安基準（昭和 2 6 年運輸省令第 6 7 号）
自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和 4 5 年防衛庁訓令第 1 号）
自衛隊の使用する自動車の番号、標識及び保安検査に関する達（陸上自衛隊達第 9 5 - 3 号）

2 製品に関する要求

2.1 一般的要求事項

一般的要求事項は、次による。

- a) この器材の走行機関は、“特定特殊自動車排出ガス規制等に関する法律”に適合したものとする。
- b) この器材は、“道路運送車両の保安基準”（以下“保安基準”という。）及び“自衛隊の使用する自動車に関する訓令”（以下，“訓令”という。）に適合するものとする。
- c) この器材は、全輪駆動トラックシャシ及び作業装置から構成され、前部にブラシ旋回角度可変式ブルーム装置、中央部にブロワ装置、後部に作業用機関などを架装し、除雪作業時、高速回転のブラシで掃き飛ばし、さらに、排風機で横方向に吹き飛ばして、アイスパーンを未然に防止し、滑走路の安全を確保し得る性能のものとする。
- d) 除雪作業時（ブラシ部左右旋回時）の各車軸間の重量配分は、おおむね均等とする。また、各車軸間の配分荷重差は、車両総質量の25%以下とし、左右車輪間の配分荷重差は、大なる車輪配分荷重の5%以下とする。
- e) 運転作業中に作業装置などが故障した場合は、じ後の走行などに支障のない構造とする。

2.2 材料・部品

材料及び部品は、原則として日本工業規格品又は同等以上のものとし、かつ、製造者社内規格に合格したものとする。

2.3 製造方法・加工方法

製造方法及び加工方法は、製造者の定めた仕様による。

2.4 構造

構造は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、表2及び表3並びに製造者の定めた仕様及び規格によるほか、次による。

2.4.1 ブルーム装置

ブルーム装置は、ブラシ本体に保護カバーを取り付けたものとし、油圧装置によって装置全体を左右に旋回して除雪方向の切替えができ、かつ、上下に昇降できる構造とする。ブルーム部は、ブラシ部に設けたギヤを介し、油圧モータにて駆動するものとする。また、キャスタータイヤは、個々に独立した直進安定装置のあるものとする。

2.4.2 ブロワ装置

ブロワ装置は、送風機本体とブローノズルで構成され、油圧装置によって掃雪方向に合わせて送風方向の切替えを行い、風を路面に吹き付ける構造であり、ブローノズルは上下に昇降できる構造とする。また、ブロワダクトは、車両後輪の前方部も排風できる構造とし、車両幅内の着脱が容易な構造とする。

表2—構造（トラックシャシ）

番号	項目		規定
1	機 関	形式	4サイクル・水冷・ディーゼル機関
2		定格出力	190 kW以上
3		最大トルク	750 N・m以上
4		燃料	DSP K 2209の2号又は3号
5		始動電動機	24 V—5 kW以上

表 2－構造（トラックシャシ）（続き）

番号	項目		規定
6	機 関	充電発電機	24 V－90 A以上
7		蓄電池	J I S D 5301の始動用鉛蓄電池で、種類は製造者の標準仕様による。
8		燃料タンク	200 L以上
9		自動車排出ガスの量	“特定特殊自動車排出ガスの規制等に関して必要な事項を定める告示”に規定する許容限度以内とする。
10	伝 達 装 置	駆動方式	全輪駆動
11		変速機	前進5段以上、後進1段
12		車軸	前・後車軸
13		タイヤ（前・後輪）	JATMAに適合するスタッドレスタイヤとするほか、製造者の仕様による。
14	制 動 装 置	主ブレーキ	空気倍力装置付4輪制動，ABS付 油圧式ディスク形又は内部拡張式
15		駐車ブレーキ	空気式4輪制動形スプリングブレーキ
16		補助ブレーキ	エキゾーストブレーキ
17	運 転 室	運転席	乗員2名分の座席を設け、乗り心地良好で前後移動調整式一人用とする。
18		消火器取付具・非常信号灯 取付具	運転室の取扱い容易な場所に、表5に規定する消火器及び非常信号灯の取付具各1個を設けるものとする。
19		運転室窓	前・後窓ガラスは、熱線入り合わせガラスとする。
20		ワイパ	前面
21			後面
22		暖房設備	運転室内に温水式ヒータを備えるものとする。
23		ハンドランプ用コンセント	ハンドランプ用コンセントを1個設けるものとする。
24	照明装置		“保安基準”及び“訓令”に示すほか作業灯、後退灯、補助前照灯（黄色）、黄色回転灯又は散光式回転灯（点滅式）を備えるものとする。
25	工具箱		車両本体に工具箱を設け、附属工具及び予備品を収納し、施錠できるものとする。
26	けん引装置		ピン式又は固定ピン式

表 3－構造（作業装置）

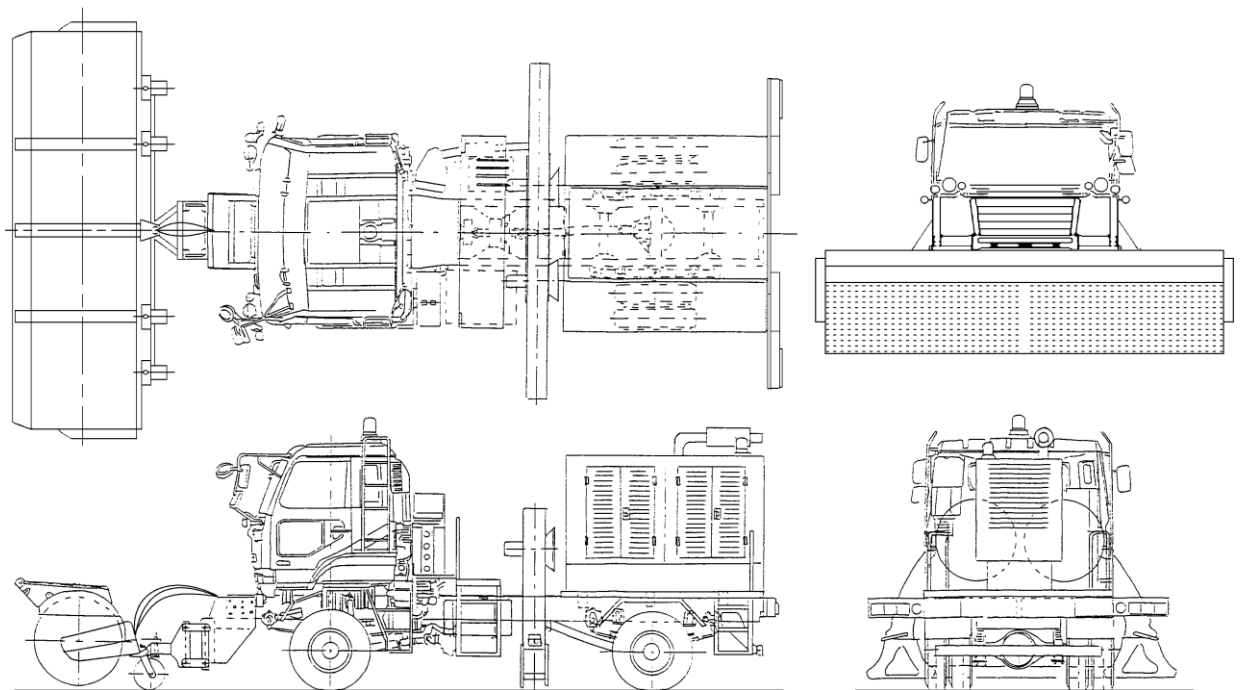
番号	項目		規定
1	機 関	形式	4サイクル・水冷・ディーゼル機関
2		定格出力	210 kW以上
3		最大トルク	1080 N・m以上
4		燃料	DSP K 2209の2号又は3号
5		燃料タンク	300 L以上

表 3－構造（作業装置）（続き）

番号	項目		規定
6	ブルーム装置	型式	車体前部円筒形横置き型，油圧昇降式
7		旋回角度	35度以上
8		ブラシ駆動方式	油圧式，中央駆動又は両端駆動
9		ブラシ支持タイヤ	キャスター式
10	ブロワ装置	型式	インペラファン式又はターボファン式
11		駆動方式	油圧式
12		数量	1個又は2個
13		送風方式	片側掃風式又は両側同時方向掃風式
14	油圧装置	油圧ポンプ	ブラシ・ブロワ用
15			シリンダ操作用
16		駆動用モータ	ブラシ・ブロワ用
17		操作用油圧シリンダ	複動式又は単段式
18		作動油タンク容量	220 L以上

2.5 形状

形状は，図 1 を参考とするほか，細部は，承認図面による。



注記 この図は，構造の一例を示すもので特定のモデルを示すものではない。

図 1－スノースイーパー

2.6 寸法・質量

寸法及び質量は、製造者の定めた仕様及び規格による。

2.7 性能

性能は、製造者の定めた仕様及び規格によるほか、表 4 による。

表 4—性能

番号	項目		規定	
			I 型	Ⅱ 型
1	除雪作業量	標準速度 ^{a)}	5 7 0 t／hを標準とする。	8 4 0 t／hを標準とする。
2		最高速度 ^{b)}	2 7 0 t／hを標準とする。	4 0 0 t／hを標準とする。
3	除雪幅（最大除雪角度時）		2 5 0 0 mm以上	3 7 0 0 mm以上
4	最高除雪速度		4 0 km／h 以上	
5	ブラシ	長さ	2 9 7 0 mm以上	4 5 0 0 mm以上
6		直径	1 1 0 0 mm以上	
7		回転数	4 0 0 rpm 以上	
8	送風機	風量	5 0 0 m ³ ／m i n 以上	
9		風速	1 5 0 m／s e c 以上（ノズル位置）	
1 0	最小回転半径		9 3 0 0 mm以下	
注記 除雪作業における雪密度は0. 3 g／cm ³ とする。				
注 ^{a)} 2 0 km／h, 除雪高さ3 8 mm				
b) 4 0 km／h, 除雪高さ9 mm				

2.8 外観・塗装

2.8.1 外観

外観は、次による。

- a) 外観上の割れ、まくれその他の欠陥がないものとする。
- b) 各部の塗装及びめっきにむらがあってはならない。

2.8.2 塗装

塗装は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、市販色の黄色とし、細部は、製造者の定めた仕様によるほか、次による。

- a) 塗装は、十分な防錆処理をし、下塗り塗装を行った後に上塗り塗装を行うものとする。
- b) 給油脂部は、赤色表示をする。

2.9 製品の表示

製品の表示は、GLT-CG-Z000001 の 2.3 によるほか、次による。

- a) 器材本体には、1 種銘板及び 2 種銘板を、また、必要箇所には 3 種銘板を取り付けるものとする。
なお、銘板の品名について、特に指定する場合は、調達要領指定書による。
- b) 予備品箱には、GLT-CG-Z000001 の物品管理区分標識 図 2c 及び名称を表示するとともに、蓋の内面に 4 種銘板を取り付けるものとする。
- c) 器材に、“自衛隊の使用する自動車の番号、標識及び保安検査に関する達”に基づく陸上自衛隊標識を表示するものとする。

3 品質保証

監督及び検査は、契約担当官等（以下，“担当官”という。）が定める監督・検査実施要領による。

4 出荷条件

出荷条件は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、商慣習による。

5 その他の指示

5.1 附属品

附属品は、表 5 によるほか、製造者の定めた仕様及び社内規定による標準品とする。

表 5－附属品

番号	品名	数量	規定
1	附属工具	1 式	製造者の定めた標準附属工具（グリースガンは、レバー式手詰め・カートリッジ兼用とする。）とし、箱付きとする。
2	点検用ハンドランプ	1	製造者の仕様及び規格による。
3	消火器	1	GE-Z 4 2 1 0 1 8 の粉末消火器 ABC 1.8 kg 加圧式 自動車用（銘板は不要）
4	非常信号灯	1	a) 保安基準第 4 3 条の 2 に規定する非常信号用具とする。 b) 乾電池式（単 3 アルカリ乾電池）懐中電灯兼用ミニチュアバルブ（2.5 V 以上 0.3 A）肩掛けフック付きとする。
5	タイヤチェーン	a)	タイヤの規格に適合したものとする。
6	エアーガイド	1 式 ^{b)}	ブローノズルに取り付けて使用できるものとする。
7	給油図板	1	—
8	附属品明細表	1	—
注 ^{a)} 数量は、調達要領指定書によって指定する。			
b) ブロワ装置が両側同時方向掃風式の場合、数量は、0 とする。			

5.2 予備品

予備品は、表 6 によるほか、製造者の定めた仕様及び社内規定による標準品とする。

表 6－予備品

番号	品名	数量	規定
1	電球	規定欄に示す数量	前照灯は 2 個、前照灯以外は、灯火装着数の 1 / 2。ただし、装着数が 1 個の場合は 1 個（端数 1 未満は切捨て）
2	ヒューズ		装着数の 1 / 2。ただし、装着数が 1 個の場合は 1 個、上限 5 個（端数 1 未満は切捨て）

表 6－予備品（続き）

番号	品名	数量	規定
3	フィルタエレメント	1 式	a) オイルフィルタ b) 作動油フィルタ c) 燃料フィルタ d) エアクリーナエレメント e) その他必要なフィルタエレメントなど ただし、製品に使用されていないものについては、不要とする。
4	予備タイヤ	1	スタッドレスタイヤ、ホイール付き
5	予備ブラシ支持タイヤ	1 組	ホイール付き
6	予備品明細表	1	—
7	予備品箱	1	a) 鋼板製とし、内部に適当な間仕切りを設け、施錠（錠前を取り付ける。）できるものとする。 b) 番号 1 及び番号 2 を収納する。ただし、ヒューズボックスを別に設けている場合は、ヒューズを除く。

5.3 承認用図面等

契約の相手方は、G L T－C G－Z 0 0 0 0 0 1 の箇条 6 に基づき、全体図、主要諸元、装置別明細図、附属品、予備品及び銘板類についての承認用図面 3 部（他に、承認願書のみ 1 部）を担当官に提出し、承認を受けるものとする。

5.4 納入書類

5.4.1 添付書類

契約の相手方は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、器材 1 式ごとに表 7 の書類を添付するものとする。

表 7－添付書類

番号	添付書類	数量	規定
1	取扱説明書	1	G L T－C G－Z 0 0 0 0 0 1 の箇条 7 による。 日本語版とし、合冊することができる。
2	整備資料（第 1 種）	1	
3	部品表（第 1 種）	1	

5.4.2 提出書類

契約の相手方は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、製品納入時、陸上自衛隊関東補給処古河支処に表 8 の書類を提出するものとする。

表 8－提出書類

番号	提出書類	数量	規定
1	取扱説明書	a)	G L T－C G－Z 0 0 0 0 0 1 の箇条 7 による。 日本語版とし、合冊することができる。
2	整備資料（第 1 種）	a)	
3	部品表（第 1 種）	a)	
4	完成品写真	1 式 ^{b)}	四方写し（前，後，左，右）
5	試験成績書	1	－
注 a) 数量は，調達要領指定書によって指定する。 b) 過去に納入実績があり，前回納入時と変更のない場合は，省略することができる。			

5.5 仕様書に関する疑義

この仕様書に関する疑義については，G L T－C G－Z 0 0 0 0 0 1 の 8.3 による。